○水生生物モニタリング調査結果一覧(はやま湖G)

<はやま湖G 水質底質採取項目>

. 10. (0. 11910	11 1 9 4 1 EX 9 4 D 1 1 1 1 1	A									
項目	一般分	析項目		放射性物質	質分析項目						
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs) 底質						
G - 1	0	0	0	0	0	0					
G - 2	l	0	_	_	0	_					
G - 3	0	0	0	_	0	_					
G - 4	I	0	_	_	0	1					
G - 5	0	0	0	_	0	_					

<はやま湖G 現場測定項目>

_		2000 MARCH												
	項目	調査緯月	度・経度		調査日時		水質		底	質		その	の他	
調了	查地点	緯度	経度	日	時刻(水)	時刻(泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度(m)	
G-	- 1 (表層)	37. 7321°	140. 8127°		13:11	13:25	18.0	16. 2	砂泥	7.5Y 3/2	植物片	4. 8	2.6	
G-	- 1 (下層)	31.1321	140.0121		13.11	13.25	17.8	10. 2	119176	7. 51 5/2	1010771	4.0	2.0	
	G - 2	37.7267°	140. 8223°			11:25	I	10.1	軟泥	7.5Y 2/2	植物片	_	-	
G-	- 3 (表層)	37. 7302°	140.8307°	H28. 10. 22	10:40	10:25	17.8	17. 4	礫混砂泥	7.5Y 3/2	植物片	6. 4	2.5	
G-	- 3 (下層)	31. 1302		П20. 10. 22	10.40	10.25	16. 4			7. 51 3/2			2. 0	
	G-4	37.7382°	140.8035°		ı	07:50	I	10. 2	砂礫	7.5Y 5/3	植物片	_	-	
G-	- 5 (表層)	97 7941°	140. 8088°		12:47	12:48	18.0	17. 3	砂泥	7.5Y 3/2	植物片	1.6	>1.6	
G-	- 5 (下層)	37. 7341°			12.41		17. 9	17.3					/1.0	

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

(はくなけ)0	版为"中央日															
項目	調査緯度・経度		調査	日時	рН	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
調査地点	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
G-1(表層)	37. 7321°	140. 8127°		13:11	7. 4	1.0	3. 9	10.1	7.0	0.04	1. 9	2	2. 3	0.0057	0.032	ı
G-1(下層)	31.1321	140. 6127		13.11	7. 4	0.8	4. 1	10.0	6.5	0.04	1. 7	3	2. 3 0. 0048	0.028	0.00096	
G-3(表層)	37. 7302°	140. 8307°	H28. 10. 22	22 10:40	7. 4	0.6	3. 6	10.0	6.5	0.04	1. 7	2	1. 9	0.0034	0.023	-
G-3(下層)	31.1302	140. 8507	П26. 10. 22	10.40	7. 3	0.6	3. 7	8. 4	6.6	0.04	1.6	2	2. 4	0.0048 0.035	0.035	_
G-5(表層)		140. 8088°	0	12:47	7. 5	0.7	3. 9	9.8	6.5	0.04	1. 7	2	2. 3	0.0040	0.027	_
G-5(下層)					7. 5	1.3	4. 3	10.0	6.5	0.04	1.8	2	2. 4	0.0045	0.022	_

<はやま湖G 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

へは て よ 何 ひ	K (M)																				
項目	調査緯度・経度		調査日時		细木口叶·									粒度	組成						
切り カー					рН	酸化還元電位	含水率	IL	TOC	土粒子の密度	礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土	中央粒径	最大粒径	Cs-134	Cs-137	Sr-90
	緯度	経度	П	時刻		E _{N. H. E}					$(2\sim75\text{mm})$	$(0.85 \sim 2 \text{mm})$	(0.25∼0.85mm)	(0.075~0.25mm)	(0.005∼0.075mm)	(0.005mm未満)					
調査地点	释及	程及	P	叶列		(mV)	(%)	(%)	(mg/g-dry)	(g/cm^3)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(mm)	(mm)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)
G - 1	37. 7321°	140.8127°		13:25	6.8	253	45.8	6.6	8.8	2. 539	0.9	1.2	14. 5	56. 2	17. 9	9.3	0.14	4.8	490	2700	3. 1
G - 2	37. 7267°	140. 8223°	H28. 10. 22	11:25	6. 7	193	71. 7	13.9	39. 7	2. 377	0.6	1.9	6. 9	11.8	32. 3	46. 5	0.0057	4.8	3100	18000	_
G - 3	37. 7302°	140.8307°		10:25	6. 9	192	53. 6	7.8	19. 5	2. 529	12. 2	8.6	13.6	12.3	30.0	23. 3	0.058	9.5	580	3500	_
G - 4	37. 7382°	140. 8035°		07:50	7. 1	248	17. 1	2. 3	2.6	2. 635	55. 9	32. 1	4. 3	2.8	2.9	2.0	2. 2	19	91	560	_
G - 5	37. 7341°	140. 8088°		12:48	7. 0	273	42. 4	7. 2	8.6	2. 554	11.6	9.5	38. 1	20.6	11. 2	9.0	0.33	19	420	2600	_

<はやま湖G 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯	度・経度	採取日	門	如	В	科	学名	和名	個体数	採取重量	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90
坦杰	1木以物门	緯度	経度		11	त्रभूण					四件数	(kg-wet)	成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	(Bq/kg-wet)
			140. 8127° 140. 8223°	H28. 10. 22	藻類・植物	-	-	_	_	プランクトン (浮遊藻類)	_	0.015	_	_	_	4. 6	N. D. (2. 2)	4. 6	_
0.1	湖内	37. 7321° 37. 7267° 37. 7302°		H28. 10. 6	脊椎動物	硬骨魚	기	1 /	Tribolodon hakonensis	ウグイ	3	0. 25	成魚	不定形残渣	内臓除去	12.8	1.8	11	_
G-1 G-2				1120. 10. 0	脊椎動物	硬骨魚	그イ	٦/	Carassius auratus	ギンブナ	2	0.89	成魚	不明	内臓除去	65	11	54	_
G-2 G-3			140. 8223 140. 8307°	H28. 10. 20	脊椎動物	硬骨魚	그イ	٦/	Cyprinus carpio	コイ	3	5. 5	成魚	不定形残渣	内臓除去	56. 7	8. 7	48	2.0
			110,000,	H28. 10. 6	脊椎動物	硬骨魚	スス゛キ	サンフィッシュ	Micropterus dolomieu	コクチバス	2	1. 3	成魚	魚類	内臓除去	307	47	260	_
				H28. 10. 3	脊椎動物	硬骨魚	ナマス゛	ナマス゛	Silurus asotus	ナマズ	1	1. 9	成魚	空胃	内臓除去	659	99	560	0.49
		[JI] 37. 7382°			藻類・植物	-	-	_	_	河床付着物(藻類を含む)	_	0.0076	_	_	_	660	90	570	_
G-4	流入河川		140. 8035°	H28. 10. 20	節足動物	昆虫	ŀĿ" ケラ	ヒケ゛ナカ゛カワトヒ゛ケラ	Stenopsyche marmorata	ヒゲナガカワトビケラ	35	0.0029	幼虫	_	_	326	46	280	_
0-4	かし入刊	31.1302	140.0033	1120. 10. 20	脊椎動物	硬骨魚	그イ	٦/	Tribolodon hakonensis	ウグイ	5	0.023	未成魚	_	_	42. 5	5. 5	37	_
					粗粒状有機物	-	-	_	_	水底落葉等	_	0. 23	_	-	_	75	11	64	_

- ※1:生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2:水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3:複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4:生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、 除去して測定した。
- ※5:プランクトン (浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。
- ※6:河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※7:N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※8:放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。